ボーリング柱状図

調査名	砂防指定地内河川　中の村川４号（Ｃ渓流）　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	6	6	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.4	調査位置	砂防指定地内河川　中の村川４号（Ｃ渓流）　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）			北緯	34° 48’ 01.4176″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	平成28年 9月20日～平成28年 9月21日			東経	132° 50’ 10.5585″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 185.16m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製D0型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	6.00m								エンジン	ヤンマーNFD80型	ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
1				礫混じり粘土	暗褐						粘土主体でφ2-10mm程度の流紋岩礫を含む。全体に粘性強い。粘土部は指圧で崩壊する。GL-0.00～0.10m間は草や根を混入する。GL-0.40m～0.50間、φ50mm程度の流紋岩類の亜円礫が2つ混入。				1.15	3/30					31	66／ケーシング	S／M				
2														10/3 2.40	1.45					9/20				200	70	0	無水／0	0
3					暗茶褐										2.15	5/30							S／M					
4	181.16	4.00													2.45													
															3.15	11/30												
															3.45													
															4.15	50/24					62	66						
5				流紋岩	黄褐黄灰	D	Ⅳ	c	δ	3	DH級の流紋岩。コア芯部まで風化が進行、粘土化する。指圧で粉砕可能。岩片～風化棒状コアとして採取される。長石類が風化し白く変色している。	0[0](100)	D		4.39								W／M	50	100	1	清水／11	11
												0[0](100)			5.05	50/9												
															5.14													
6	179.16	6.00													6.05	50/12				9/21								
															6.17													
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												